

# Bouquet

中央区男女共同参画ニュース「ブーケ」  
No.90 2022.2

中央区男女共同参画ニュース「Bouquet(ブーケ)」は女性センターや区の施設などで配布しています

- 「愛」と「束縛」を間違えない  
—自分も相手も大切にするために—  
[座談会] プラン・ユースグループ
- 令和4年4月1日から変わります  
パワーハラスメント防止対策の義務化等
- 輝く女性にインタビュー in 中央区  
岡崎実央さん



パートナーの関係を  
見直して互いに  
心地良い関係へ。

その性行為  
性暴力かも?

パートナーの関係を  
大切にするために  
自分も大切に

1. 束縛するな  
相談しよう!

相手に合わせる  
心で愛を伝える♡



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を  
支援しています

# 「愛」と「束縛」を 間違えない

— 自分も相手も大切にするために —

## 座談会 プラン・ユースグループ

子どもの貧困や女の子・女性への差別がない公正な社会を実現するために、啓発や政策提言を行っているプラン・ユースグループ（以下、ユース）のメンバーに、DV（配偶者等からの暴力）や、デートDV（交際相手からの暴力）の現状や問題点、大切な人と良い関係を結ぶために必要なことについて、お話を伺いました。

### ジェンダー課題への興味から ユースグループに参加

— 参加のきっかけをお聞かせください —

ななこ 私は親の影響もあり、もともとジェンダーの問題には興味がありました。インプットは自分でもできますが、ユースはアウトプットができること、同世代の人とジェンダー課題に取り組んで刺激がもらえるのが魅力的でした。地球規模課題の解決に貢献できる人になりたいという目標があり、最終的には国際的に活躍できる仕事に就けたらと思っています。

あやの ジェンダー課題には関心がありましたが、通っていた女子高では実感することがありませんでした。現実との間に距離があることに疑問を持ち、自分にできることをしたいと思って参加しました。将来は語学を生かして国際的な仕事ができればと考えています。

みお 中学生くらいから平和構築に興味があり、教育とジェンダーの課題にたどりつきました。現在ユースが取り組んでいる「包括的性教育」は人権尊重を基本としていて、とても良いと思うので広めたいです。将来は平和構築に貢献したいです。

みき 一つには、幼少期から「なぜ典型的な女の子の型にはまらなければいけないの？」と疑問を感じていて、中学・高校でジェンダー問題を知って関心を持ったからです。もう一つは、カナダに留学したとき、同年代の人たちが環境やLGBTQ+などの問題に積極的

に取り組んでいるのを見て、自分も積極的にアウトプットしたいと思ったからです。就職しても個人の活動として、プラン・インターナショナルの支援、SNSでの発信など、できることはやっていきたいです。

もえ 中学・高校くらいから途上国支援に興味があり、プラン・インターナショナルを知っていました。ユースグループの存在を知ったのは、高校卒業後にプラン・インターナショナルのイベントに参加したことがきっかけです。その後、たまたまユース主催のワークショップがあるというので参加をし、すぐに応募を決めました。将来は、大学で勉強している福祉はもちろん、途上国支援、ジェンダー問題にも関わっていききたいと思っています。

### デートDVがどういふものか、 まず知ってほしい

— 身近な経験や活動の中で分かったデートDVの現状をお聞かせください —

ななこ 「付き合っている人の束縛が強く、少しでも返事が遅れると怒って問い詰めるような精神的暴力をふるわれている人がいる」と相談を受け、身近な問題と実感しました。普段から私の活動について話したり、デートDV関連のイベントに参加してもらっていたので、気付けて相談してくれてよかったです。

2年前、ユースが実施したデートDVの調査では、デートDVの定義について身体的暴力のイメージが強く、経済的暴力や精神的暴力も含め、束縛が暴力にあたることを意識しているユース世



左から  
 ななこさん（大学1年生）  
 あやのさん（大学1年生）  
 みおさん（大学2年生）  
 みきさん（大学4年生）  
 もえさん（大学1年生）



# PLAN YOUTH GROUP

## プラン・ユースグループ

国際 NGO プラン・インターナショナルの一員として「子どもとともに進める地域開発」を推進している公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンの「ユース世代（15～24歳）」によるグループ。子どもの貧困や女の子・女性への差別がない公正な社会を実現するための啓発活動、アドボカシー（政策提言活動）、アドバイザリー活動を中心に、ワークショップや、アンケート調査の実施、企業や政府への提言、プラン・インターナショナル内部へ助言などを行っている。

※活動内容や調査報告書はこちらでご覧ください。



代は少ないという結果でした。  
**みお** 去年はオンライン・ハラスメントの調査もしましたが、まわりの子や友達には自覚していない人が多いと気付きました。  
**あやの** 私は身の回りでデートDVの実例を聞いたことはありませんが、気付かない人が多いと思うんですね。友達が被害に遭っていると思ったときは、ただ寄り添って話を聞くことが一番で、相談先も伝えられたらと思います。  
**みき** 私もデートDVの性被害を告白された経験があります。客観的に見ればその子は悪くないのですが、お酒が絡んでいたこともあり、自分に非があると自分自身を責めていたので悲しくなりました。自分のせいではないということを知ってもらうのが大事で、対処方法の情報を選択肢として託し、できる限りのことをするのが被害者に寄り添う支援だと思います。  
**もえ** 私はデートDVの定義が知られていないと感じます。連絡頻度の問題、束縛、性的同意のない性行為は頻繁に起きていますが、それがデートDVだと気付いている人は少ないと思います。

## 互いに尊重しあえる関係を結ぶために

——デートDVをなくしていくために、何が必要ですか

**みお** 普段からデートDVについて話したり、パンフレットを渡すときに声を掛けるだけでも、問題を自覚しやすくなると思います。不特定多数の人が目にするメディアで情報を発信することも大切です。子ども向けにも分かりやすく、例えば漫画などの表現で発信したらよいと思います。

**あやの** 学校でパンフレットを配るなど、関心のない人にも周知できるとよいですね。また、デートDVの調査では相談できる環境が少ないという結果もありました。被害を受けたときに相談しやすい環境を整備することも大事だと思います。

**みお** 人の心の裏には悩みや鬱憤うつぶたがあり、ストレスを発散するためにデートDVや人を攻撃してしまうという側面があるような気がします。悩みを抱えずに済むように気軽に相談できる場を整えていけば、加害の原因も少なくなるのではないのでしょうか。また、男だから弱みを見せられないなど、男らしさ・女らしさのステレオタイプが強く影響しているところにアプローチするには、「包括的性教育」などを通してジェンダー平等を学ぶことが大事かなと思いました。

**ななこ** 私はDVやデートDVをなくすためには全員にリーチできる教育の役割が大き

デートDVを知る

■デートDVって？  
(内閣府男女共同参画局)



いろいろあります！  
DV、デートDVの  
相談窓口

電話で相談する

■DV相談+



0120-279-889

(24時間受付)

メールやチャットでも  
相談できます。

■#8008

DV相談ナビ\*

■#8891

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ  
支援センター\*

■#8103

性犯罪被害相談電話\*

\*発信場所から最寄りの相談窓口  
にあなたがかけた電話を自動  
転送します。一部のIP電話、  
PHS等からはつながりません。

LINEで相談する

■ささえるライン相談  
@東京



■若草プロジェクト  
LINE相談



■女性ネット Saya-Saya  
DV専門LINE相談



く、学校のカリキュラムに「包括的性教育」が入り、みんなが同じように学べる環境を整備することが必要だと思えます。また、2019年に行った「広告でのジェンダー描写に関するユースの意識調査」では、広告のジェンダー像がユース世代にも影響を与えているという結果が出ました。例えば「壁ドン」がはやったときは、メディアや友達の話を通じて当たり前のようになりましたが、それがデートDVにあたる行為だとは気付いていません。メディアの制作者も気付いて変わってほしいし、毎日をごす環境は当たり前を生みやすいので、親や学校にも知ってもらい、話しやすい関係をつくっておくのが大事だと思います。そこが変わればみんなが生きやすい社会になると思います。

こと、情報を受け取る側もその内容を見極めることが必要だと思えます。

**みき** リベンジポルノの問題もあります。情報リテラシーも、デートDV防止対策のひとつになってくると思います。

—— **中央区の同世代の人たちへのメッセージをお願いします**

**みお** 「相手にだって心があるんよ♡」。相手も自分と同じ人なので、言葉にしたり行動する前に考えることで、不本意に人を傷つけずに済むと思うので、心に留めてもらいたいです。

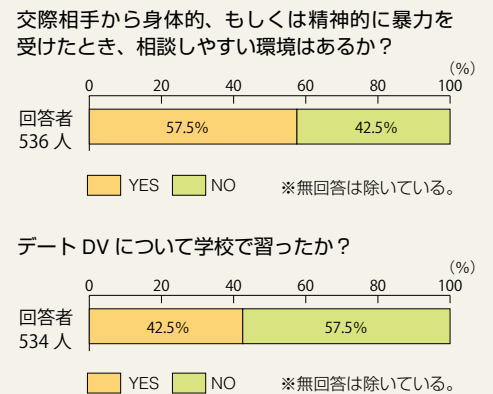
**ななこ** 「パートナーとの関係を見直して互いに心地良い関係へ!」。お互いに知らないことがあったり、言えていないことがあったりするとと思うので、そこを改善しつつ、心地よい関係を築いてほしいです。

**あやの** 「一人で悩まないで相談しよう!」。DVを受けていることに気付かないことも含め、自分のせいだと思っている人が多い気がします。男性も女性も一人で悩まず、信頼できる誰かに相談することが大事ではないでしょうか。

**もえ** 「その性行為、性暴力かも?!」。自分が「嫌だ」「おかしい」と思う時点で、問題は起きています。性行為に関することだけでなく、少しでも嫌なこと、おかしいと思うことがあ

れば、すぐに相談機関でも友達でも、信頼できる誰かに打ち明けてほしいです。

**みき** 「パートナーとの良好な関係のためにも自分を大切に」。自分を大切にすることは、加害者にも被害者にもならないためにも重要だと思えます。加害に至る背景があれば何らかのケアで自分を大切にしてほしいし、健全なコミュニケーションで同意を取ったり、相手が嫌がっていることに気付ける自分をつくり上げることが大事です。被害者にならないためにも、自分は何が嫌で、何に同意していないのかを客観的に捉え、こう思っているんだと言えるような精神状態を保つこと、考えを持つことが大事だと思います。



資料：「日本国内ユース世代のジェンダー課題 調査報告書」  
(2020年7月 ブラン・ユースグループ)

# 令和4年4月1日から変わります

## ■ 女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出、情報公表の義務化

日本では、出産・育児を理由に離職する女性や、出産・育児後に再就職してもパートなどの非正規雇用者であったり、出産、介護などの事情で、就業を希望しながらも働いていない女性が多く、また管理的立場にある女性の割合も低いなど、働く場面で、女性の個性と能力を十分に発揮していくための環境の整備は大きな課題となっています。

『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律』では、これまで一般事業主行動計画の策定・届出と情報公表の義務化は、常時雇用する労働者が301人以上の企業とされていましたが、令和4年4月1日からは101人以上300人以下の企業にも拡大されます。

### 行動計画の策定から届出までの流れ

#### ステップ 1

自社の女性の活躍状況を、基礎項目に基づいて把握し、課題を分析する

#### ステップ 2

一般事業主行動計画を策定し、社内周知と外部公表を行う

#### ステップ 3

一般事業主行動計画を策定したことを都道府県労働局に届け出る

#### ステップ 4

取組を実施し、効果を測定する

資料：「令和4年4月1日から女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出、情報公表が101人以上300人以下の中小企業にも義務化されます」（厚生労働省）



## ■ パワーハラスメント防止対策の義務化

職場のパワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどのさまざまなハラスメントは、働く人が能力を十分に発揮することの妨げになることはもちろん、個人としての尊厳や人格を不当に傷つけるなどの人権に関わる許されない行為です。また、企業にとっても、職場秩序の乱れや業務への支障が生じたり、貴重な人材の損失につながり、社会的評価にも悪影響を与えない大きな問題です。

パワーハラスメント関係およびセクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント関係の法律が改正・施行され、2020年（令和2年）6月1日から職場におけるパワーハラスメント防止対策が事業主の義務となりました。これまでは努力義務とされていた中小事業主も、令和4年4月1日からは義務となります。

### 職場におけるパワーハラスメントとは？

職場において行われる

- ① 優越的な関係を背景とした言動であって、
- ② 業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、
- ③ 労働者の就業環境が害されるもの

①から③までの3つの要素を全て満たすものをいいます。

※客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、職場におけるパワーハラスメントには該当しません。

資料：「職場におけるパワーハラスメント対策が事業主の義務になりました！ ～～セクシュアルハラスメント対策や妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント対策とともに対応をお願いします～～」（厚生労働省 都道府県労働局雇用環境・均等部（室））





# アートでプロレスの魅力を伝えたい

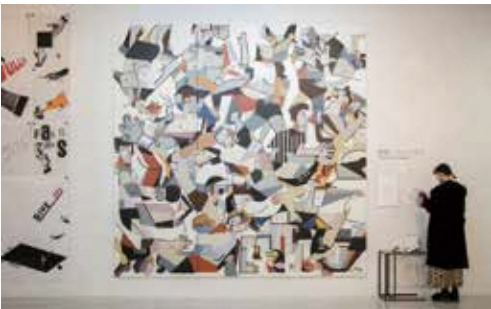
## 岡崎 実央さん

美術大学在学中からプロレスの魅力を伝える作品を作り続け、『週刊プロレス』の記者を経てアメリカに拠点を移した岡崎実央さんにお話を伺いました。

※このインタビューは、2021年11月25日にオンラインで行いました



撮影：徳岡永子



「四角いジャングル」キャンバス、アクリル3501×3501mm

### 「四角いジャングル」

——プロレスを題材にした絵を描き始めたきっかけから現在の活動までをお聞かせください

私は高校生のときからプロレスが好きで、プロレスを見たことがない、知らない人が「怖い・痛い・嫌い」などのイメージを持っていることが歯がゆくてたまりませんでした。美術大学に進学し、ここではプロレスの魅力が少しでも広めるため、与えられた課題は全部、プロレスをテーマにして取り組みました。

4年生のとき、「せっかくなので絵を描いて美大に入ったのだから、絵を描いて終わろう」と思い、卒業制作は「四角いジャングル」という大きな絵を描きました。プロレスは、観客がリングを囲んで見るエンターテインメント。技を掛けられている選手の顔が見える位置にいる人には、技を掛けている選手の顔が見えない場合も多くあります。そこで両方を同時に表現する方法を模索して、さまざまな角度から見た対象の形を一つの画面に収めるキュビズムという技法にたどり着きました。

『週刊プロレス』の記者になったのは、卒業制作の資料として読んでいた『週刊プロレス』で編集部員募集

の記事を見つけ、応募したら受かってしまったからです（笑）。広告関係の会社から内定をもらっていました。が、どちらに行けば人生が面白くなるかを考えて『週刊プロレス』を選択。入社して1年が経った頃、「コロナ禍で試合が減った時期と重なったこともあり、アートとプロレスを掛け合わせた「闘藝」という不定期連載も持たせてもらいました。

本業の合間に作品をコンペやアフケアに出す日々をしばらく続けましたが、どちらも片手間にこなせるワークではありません。そこで「今しかできないこと、私にしかできないことは絵と記者どっちだろう」と天秤に掛けた結果、2年半続けた会社を辞めました。仕事は好きだったので迷いましたが…。そして、私の絵を認めてくださる人の勧めもあり、アメリカで少しの間制作活動をすることにしました。記者時代に比べて絵と向き合う時間があるので、作品の質も上がりましたね。

### プロレスはまだ…

——プロレスは「男の世界」というイメージですが、実際はどうですか

会場では女性のお客様が4割、男性のお客様が6割くらいの団体が多く、女子プロレスはまだまだ女性の

お客様は少ないです。

記者も団体のスタッフさんも女性には珍しい業界。顔を覚えてもらえるメリットはありますが、デメリットもあります。タフさが求められず、取材では選手と親しくならないと聞き出せない話もありますが、距離を詰めすぎるとかえって仕事やりにくいこともあります。自意識過剰かもしれませんけど！（笑）

### 「好き」を仕事にするとは

——これから社会に出る人たちに伝えたいことをお聞かせください

好きなことを仕事にするのは趣味を一つ失うことだと思えます。趣味を仕事にした途端、私の中でそれは趣味ではなくなってしまうので…。でも、好きだからできることもあります。不定期連載も、大変だった女子プロレスラーの写真集の制作も、蓄えた知識と、プロレスが好きだからやり切ることができました。

だから誰にも負けない好きなものを見つけたことが大事だと思います。それが強みになる瞬間は来るし、つらいことがあってもなんとか乗り越えられることが多い。でも「好きだからできるでしょ？」という「搾取」も少なからずあるので、そこは気を付けてほしいですね（笑）。

報告

男女共同参画講座  
誰もが自分らしく生きられる社会と  
多様性について考えてみよう！

10月16日、自らがゲイであることをカミングアウトし、公立小学校や大学で教え、自治体の相談員、LGBTや教育に関する講演などを行っている鈴木茂義さんをお招きし「多様性」を考える講座を開催しました。

鈴木さん自身が悩んだこと、周りの人にゲイであることをカミングアウトした時の反応など、具体的なライフストーリーを聞きながら「もし自分だったら？」と考えることができました。また、誰にもさまざまな側面があり、それらが重なってできている「多層性」を持った存在であるということが理解できました。

本当に自立するには、一人ではなかなかだけでは、地域の中で安心して頼れる人や安全な場所を増やし、時には頼ることも大切とのことでした。鈴木さんが実際に行った授業例や子どもたちから相談を受けた時の対応から、私たち一人一人が頼れる人になるためのヒントをいただきました。



鈴木茂義さん



報告

事業協力スタッフ企画  
男女共同参画講座  
がんばらない介護

11月6日、母親の介護をしながらライター、ファイナンシャル・プランナーとして多くの週刊誌などで執筆されている村田くみさんをお招きし、仕事と介護の両立に役立つノウハウをお話しいただきました。



村田くみさん



報告

イクメン講座  
子育てでパパ応援！  
パパのための読み聞かせ講座

11月17日、元中央区図書館職員として児童サービスに携わり、絵本や語り の大切さを伝える活動を続けている児童図書研究家の植田たい子さんをお招きし、子どもをとりまく社会状況、絵本の選び方や読み聞かせの方法をお話しいただきました。



植田たい子さん



令和4年2月・3月に開催される講座などのご案内

- \* 会場は、女性センター「ブーケ21」です。
- \* 募集は広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」発行後です。申し込み方法など詳しくは広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」をご覧ください。
- \* 「託児」は申し込み締切日および定員があります。
- \* 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、内容を変更または中止する場合があります。最新の情報は区のホームページをご覧ください。

男女共同参画講演会

男性版・気持ちが伝わる言葉の選び方  
—身近な人を大切にしたいあなたへ

日 2月15日(火) 午後6時30分～8時  
講 山崎 礼子さん(カウンセラー、アサーショントレーナー)  
内 モヤモヤした気持ちを率直に、言葉でさわやかに伝える「アサーション」のスキルを学びます。  
対 区内在住・在勤・在学の男性 定 30名(先着順) ￥無料 託 なし 掲 1月21日号

申し込み方法

電話またはファクス ①講座名 ②氏名・ふりがな ③電話番号 ④区民カレッジ参加の有無をご記入ください。でお申し込みください。中央区ホームページの電子申請からもお申し込みいただけます。

男女共同参画講座

自分が変わる 会社も変わる  
認定企業が語るワーク・ライフ・バランス

日 2月16日(水) 午後6時30分～8時  
講 スーパーアップデザインズ株式会社、株式会社エグゼクティブ、株式会社浅野製版所  
内 中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業の具体的な取り組みから、「ワーク」と「ライフ」の調和がとれた働き方について考えます。  
対 区内在住・在勤・在学の方 定 30名(先着順) ￥無料 託 なし 掲 1月21日号

男女共同参画講演会

殴られたので裁判しました  
～まさかあの人“DVする”とは～

日 2月19日(土) 午後2時～4時  
講 二星星さん(漫画家)  
内 DVの実体験を描いて漫画家になった講師が、親密な関係のパートナーが引き起こすDVについてお話しします。  
対 どなたでも 定 50名(先着順) ￥無料 託 あり 掲 1月21日号

男女共同参画講演会(団体助成)

SDGsを達成するために私たちができること!  
～ジェンダー平等を実現するための一歩～(仮題)

日 3月19日(土) 午後2時～4時  
講 大谷 恭子さん(弁護士、一般社団法人若草プロジェクト代表理事)  
内 若年層の女性の生きづらさや困難な状況を知り、身近な社会問題の解決への取り組みを学びます。  
対 区内在住・在勤・在学の方、その他関心のある方 定 50名(先着順) ￥無料 託 なし 掲 2月11日号

男女共同参画講座

子ども達が希望を持って  
生きるためのヒント

日 3月19日(土) 午前10時～正午  
講 竹信 三恵子さん(ジャーナリスト、和光大学名誉教授)  
内 子ども達が理想の生き方、幸せな人生を歩むために大人が知っておきたい今の社会について学びます。  
対 どなたでも 定 30名(先着順) ￥無料 託 あり 掲 2月11日号

中央区ホームページ 電子申請

検索

申し込み・問い合わせ先  
女性センター「ブーケ21」(中央区湊一丁目1番1号)  
電話番号 03-5543-0651  
FAX番号 03-5543-0652



日 日時 講 講師 内 内容 対 対象など  
定 定員 ￥ 料金 託 託児(申し込み締切日、定員あり) 掲 「区のおしらせ ちゅうおう」掲載号



報告  
令和3年度  
中央区男女共同参画  
リーダー研修

# SDGsをいちから学ぼう！ SDGsって何？

11月18日(木)、中央区と中央区女性ネットワークの共催により、男女共同参画リーダー研修が行われました。今年のテーマはSDGs(持続可能な開発目標)。研修先は、新宿区の市ヶ谷にある独立行政法人国際協力機構(JICA)地球ひろばで、体験型展示スペースの見学と国際協力経験のあるスタッフの体験談を聞くというプログラムでした。

体験型展示スペースでは「人間の安全保障」、「貧困」、「保健医療」、「水」、「相互依存」、「紛争」、「教育」、「持続可能な開発目標」という8つのテーマに沿って展示を見学しました。パネルや映像を見るだけでなく、クイズに答えたり、自分で動かして体験したり、楽しく学ぶことができました。8つのテーマにはいずれもジェンダーの課題が含まれ、なぜ、SDGsのひとつに「ジェンダー平等を実現しよう」を掲げているのか、深く納得できました。



「水」の展示。水事情の改善が、女性や家族の生活に大きな変化をもたらす



「持続可能な開発目標」の展示。各国のカードを差し込むとその国の達成状況が分かる

国際協力経験のあるスタッフには、写真などを使って当時の活動についてお話しいただきました。日本での経験をどう生かせば役に立つのか、人々と交流しながら考え、活動した様子がかえりました。

持続可能でよりよい世界を目指すために、一人一人が持てる力を出し合い、ともに行動することの大切さをあらためて学ぶことができた研修でした。

## SDGsとジェンダー



▶新しい年になりました。新型コロナウイルスの新手の攻撃などもあって、なかなかすっきりしませんが、なんとか楽しい実り多い年にしたいものです。▶2021年11月に実施されたリーダー研修(中央区女性ネットワークと中央区の共催)は、市ヶ谷のJICA(国際協力機構)での「SDGsをいちから学ぼう!」というものでした。いろいろな機会に耳にしたりする機会が多くなったSDGsですが、内容をもっと知りたいと、私も興味津々で参加しました。▶世界共通に設定された17の目標は、貧困や不平等・格差、気候変動など、世界の抱えるさまざまな課題を根本的に解決することを目指すものですが、その中で、目標5として、「ジェンダー平等の実現」があげられています。▶17の目標は、いずれも欠くことのできない大切な目標ですが、なかでも「ジェンダーの平等」は、目標達成のために欠かせない視点だということが実感されました。人口の半数を占める女性は、世界全体の可能性の半分であるということもできます。▶よりよい世界をめざして、私たちは、できることを少しずつでもやっていくことが大切なのだと思いました。(松川淳子)

## 「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者等や交際相手からの暴力をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 **03-5543-0653** (相談無料、秘密厳守)

電話相談(予約不要) 毎週月曜日 10:00 ~ 16:00 (ただし祝日、年末年始を除く)

面談相談(予約制) 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00 ~ 16:00  
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30 ~ 20:30  
(ただし祝日・休日、年末年始を除く) \*託児付き(要予約)  
上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人一人が自分らしく生きることができると地域社会を目指す拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 中央区湊一丁目1番1号  
電話番号 03-5543-0651  
ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

- ◆開館時間  
午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)
- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線  
八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」(深川車庫前⇄東京駅八重洲口/豊洲駅前・明石町経由)  
鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」  
鉄砲洲下車 徒歩3分  
入船三丁目下車 徒歩3分  
「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

